

「秋田漢詩文」(上・下)は郷土資料蒐集保存家・真崎勇助氏が明治25年(1892)12月から大正5年(1916)7月までの二十余年の歳月をかけて編集した自筆稿本「秋田文苑」全69巻(秋田県立図書館蔵)を基幹的底本となっております。

これに監修者が学生教育用に厳選蒐集した能代淳城家文芸資料「千鳥足」(県指定有形文化財)所収「野代賦」「褪之記」、秋田藩校明德館教授陣「如斯亭記 学館命題文稿」九篇(秋田県公文書館蔵)、狩野徳蔵著「旭峰詩鈔初編(天・地・人)」(秋津出版社・明治23年刊)等を増補した総計一万篇超から成っております。

秋田漢詩文は二部にて構成されております。

第一部は秋田文苑、もう第二部は増補となっております。

増補部分収録リストは下記の通りです。

槎湖紀行、謹齋平元先生之墓碑、旭峯詩鈔初編、池田文太郎翁傳、褪之記、野代賦、狩野旭峯翁頌徳碑、送家弟徳蔵赴于山形新聞社、遊六郷町觀諸家藤花詩、六郷蘭亭追遠會記、醉經學舎碑、醉經學舎記、稷如亭雅會漢詩、聲體寺龜趺碑